



第 41 回

スカイリフト

もうリフトのない生活には戻れません ～移乗を導入しました～

移乗用リフト（商品名：スカイリフト）を当施設でも導入致しました。

移乗用リフトは、在宅でも使用できて、福祉用具貸与できる工事の必要がない、移動用のリフトです。そのため、在宅でも使用できる設計となっており、大きさは約車椅子1台分となります。当施設でも居室内、トイレにも使用できて大活躍です。

このリフトは、利用者様にとっては、脱臼や骨折の事故が少なく、介助側にとっては、腰痛の予防になるリフトとなります。

また、パンフレットによると、ご利用者様から『もうリフトのない生活には戻れません。』、『リハビリのため立位訓練にも使っています。』、『これでお互いに安心して移乗することができます。』など、使用した感想がありました。

今後とも、ご利用者様への安全の確保のために、いろいろと勉強していきますのでよろしくお願い致します。



※スカイリフト：小回り性が高く、移動や移乗がスムーズなスタンディングリフト。超コンパクトで車いすへ差し込めます。

改修工事のお知らせ

当院では、患者様の療養環境の改善及びサービス向上のため、下記の通り改修工事を実施いたします。ご入院中の皆様、ご来院の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほど、よろしくお願い致します。

記

1. 工事期間
平成27年5月25日(月)～7月31日(金)
2. 工事時間
8時30分から18時00分まで
(原則、日・祝日を除く)
3. 工事箇所
 - ① 1階外来待合ホール
エコー・内視鏡室、言語聴覚療法室新設工事
 - ② 1階外来待合ホール 自動ドア新設工事
 - ③ 玄関ホール 地域医療連携室移設工事
 - ④ 1階病棟 病室増設工事、浴室改修工事

編集後記

入社して3ヶ月、広報委員になって3ヶ月が経ちました。今、目の前の業務に精一杯の私が病院の広報に携わる。そして、病院だけでなく法人全体の広報に関わっていくことは想像以上にプレッシャーとなりました。

しかし、今は委員会について行けなくても、目の前の業務から周りを見わたすことができ、病院の動きを感じることが出来るようになったら、そのプレッシャーも少しずつですが軽くなると思っています。今自分にできることを少しずつ増やし、広報委員として活躍できるように成長していきたいです。

(平川 純子)



平成の森・川島病院

TEL 049 (297) 2811

介護老人保健施設 平成の森

TEL 049 (297) 8808

訪問看護ステーション 平成の森

TEL 049 (297) 8331

居宅介護支援事業所 きずな

TEL 049 (297) 8797

在宅介護支援センター きずな

TEL 049 (297) 8689

ロイヤルケアホーム川島 (サービス付き高齢者向け住宅)

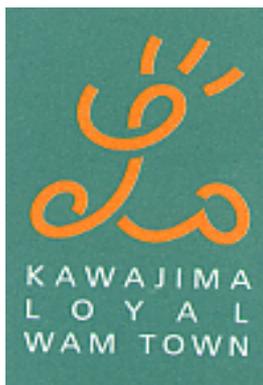
TEL 049 (299) 0880

川島クリニック

TEL 049 (297) 8783

川島町地域包括支援センター

TEL 049 (297) 8689



ふれ愛

発行 川島ロイヤル・ワム・タウン広報委員会

〒350-0123

埼玉県比企郡川島町大字畑中 478 番地 1

電話：049 (297) 2811 Fax：049 (297) 0535

ホームページアドレス <http://www.kl-wam.jp/>

No. 71

平成 27 年 6 月 1 日

回復期リハビリ病棟増床



当院 1 F 病棟は、回復期リハビリ病棟 32 床と介護病棟 26 床の複合病棟でしたが、5 月に 26 床の介護病棟を閉鎖し、医療病棟を経て 6 月より回復期リハビリ病棟 58 床となります。病棟の転換と平行して、5 月末より病棟工事が行われます。これまでは個室が 2 床しかなく、個室を希望される患者様への対応に困難をきたしていましたが、今後は個室が 6 床に増え、患者様の要望やプライバシー確保に柔軟に対応可能となります。

看護スタッフの人員も増え、リハビリスタッフ、コメディカルスタッフとの連携をとり、入院から在宅復帰を目指し、取り組んでいきます。また、患者様が安心してリハビリに取り組めるよう環境を整え、出来る所は見守り、出来ない所は出来るよう手助けし、リハビリ室での「出来る ADL」能力を把握し、「している ADL」の拡大をめざし対応していきたいと考えております。